

榛東村の無形民俗文化財の紹介

<p>村指定</p> 	<p>村指定</p> 	<p>村指定</p> 
<p>おおみやじんじゃししまい 大宮神社獅子舞</p>	<p>つねまさじんじゃだいだいかぐら 常将神社太々神楽</p>	<p>あらいししまい 新井獅子舞</p>
<p>場所:大宮神社 住所:長岡481</p>	<p>場所:常将神社 住所:山子田2527-1</p>	<p>場所:八幡宮 住所:新井674</p>
<p>武烈天皇を祭神とする大宮神社の春秋の大祭に奉納される。雨乞いに靈験があると伝わる。</p>	<p>平安時代創建と伝わり千葉常将を祭神とする常将神社に奉納される。一度消滅していたが大正15年に再興させ現在に至る。</p>	<p>新井八幡宮は鎌倉時代に地頭であった桃井義胤が鎌倉から勧請したと伝わる。獅子舞は甘楽郡的那須から伝承したといわれる。</p>
<p>村指定</p> 	<p>村指定</p> 	<p>村指定</p> 
<p>はちまんぐうだいだいかぐら 八幡宮太々神楽</p>	<p>ひじりぐうじんじゃだいだいかぐら 聖宮神社太々神楽</p>	<p>しゅくいなりじんじゃししまい 宿稻荷神社獅子舞</p>
<p>場所:八幡宮 住所:新井674</p>	<p>場所:聖宮神社 住所:広馬場1421</p>	<p>場所:宿稻荷神社 住所:広馬場4195-6</p>
<p>明治時代に前橋市の総社神社から伝えられた。毎年春の例大祭に奉納が行われる。</p>	<p>南北朝時代、聖宮神社の祭礼に領主の桃井直常が馬上武術を奉納した時、村人が奉納した舞がこの神楽の発祥と伝わる。</p>	<p>箕輪城とゆかり深い宿稻荷神社の初午祭に奉納される。獅子頭は社殿の建築に携わった宮大工である勢多郡石原常造の作と伝わる。</p>

<p>村指定</p> 	<p>県指定</p> 
<p>しものまえじぞうまつり 下ノ前地蔵祭り</p>	<p>ひろばばじゅうさんくじぞうまつり 広馬場十三区地蔵祭り</p>
<p>場所:16区コミュニティセンター 住所:広馬場82-2</p>	<p>場所:13区コミュニティセンター 住所:広馬場2729</p>
<p>8月中旬頃に行われる広馬場下ノ前の盆行事。先祖供養を祈願し和讃を唱え、地蔵堂や観音堂をはじめ地域の家々を回る。「田かき地蔵」の言い伝えが残り、親しまれてきた。</p>	<p>8月盆行事で疫病退散、先祖供養等を祈願した。15日夕～夜、地蔵菩薩を祀った神輿を引き和讃を唱え地域内を巡回する。参拝者はお札と花飾りを受ける。</p>

無形民俗文化財は、人々の暮らしの中で伝承されてきた祭礼や芸能で、地域特有の伝統文化を構成するものです。私たちの地域の無形民俗文化財を知り、地域の宝として大切にしましょう。